

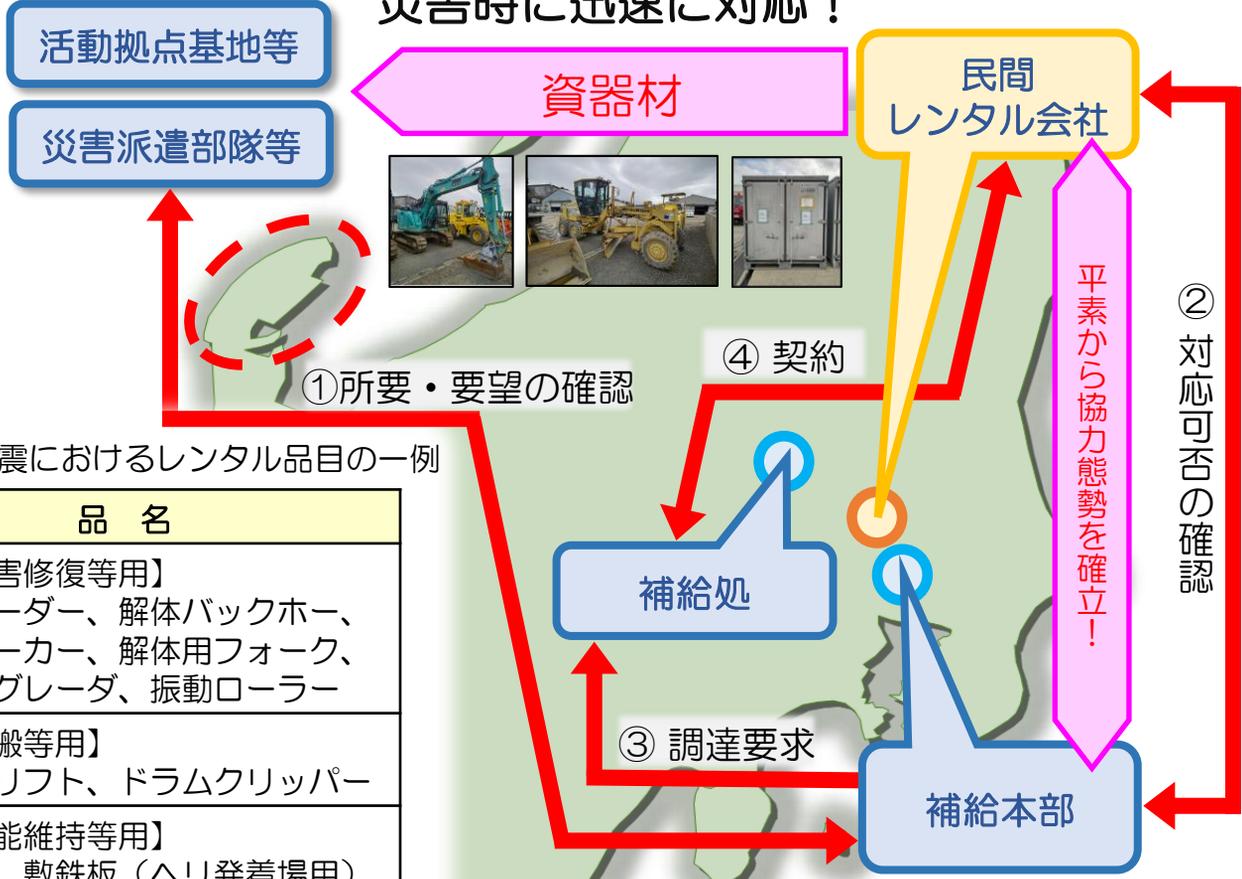
令和6年1月1日に発生した能登半島地震において、航空自衛隊は石川県の小松基地及び輪島分屯基地を主な拠点として、航空救難、捜索救助、被災民の受け入れ、給食及び給水支援等の災害派遣活動を行いました。それらの活動にあたり、補給本部は、災害現場の最前線で活動する部隊が最大限に能力を発揮できるように、部隊ニーズを適宜把握し、即応するため、必要な装備品や燃料等を、他の基地等から活動拠点となる基地等に集積する等の後方支援を行いました。

特に、輪島分屯基地においては、活動拠点となっているところ、大きな被害を受けたため、最低限の基地機能の確保等に必要な資器材を早急に手当てする必要があります。その際、民間レンタル会社との連携により、必要な資器材をいち早く借上げ、現地に送り込むことができました。

これは、補給本部が、平素から民間レンタル会社と災害時の協力態勢を確立していたためであり、正月の三が日においても適時かつ迅速な対応が可能となったものと考えます。

補給本部はあらゆる事態に備え、このように官民一体となった活動をもって航空自衛隊の活動を支えています。

災害時に迅速に対応！



能登半島地震におけるレンタル品目の一例

| 品名 |
|--|
| 【施設被害修復等用】 ホイールローダー、解体バックホー、油圧ブレーカー、解体用フォーク、モーターグレーダ、振動ローラー |
| 【物資運搬等用】 フォークリフト、ドラムクリッパー |
| 【基地機能維持等用】 コンテナ、敷鉄板（ヘリ発着場用）、トイレ、シャワーユニット |